

溶接遮光フェンス・火花用衝立 組立説明書

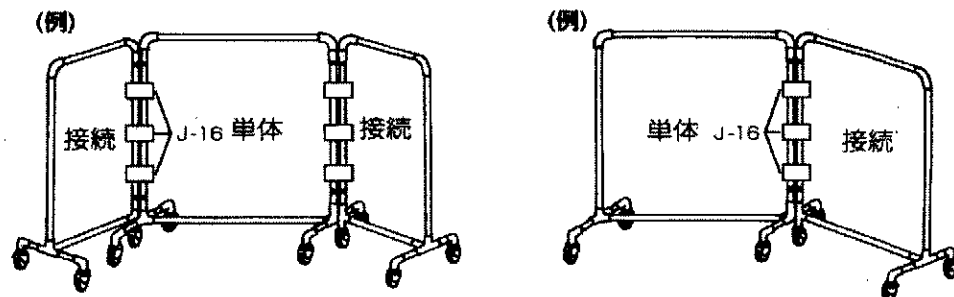
1. 組立部品

NO.	部 品	キャスタータイプ				固定タイプ			
		W2000×H2000		W1000×H2000		W2000×H2000		W1000×H2000	
		単体	接続	単体	接続	単体	接続	単体	接続
①	2 m パイプ	○	○			○	○		
	1 m パイプ			○	○			○	○
②	2 m パイプ	○	○			○	○		
	1 m パイプ			○	○			○	○
③	2 m パイプ	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 m パイプ	○	○	○	○	○	○	○	○
⑤	A 二本足	○	○	○	○				
	B 固定足					○	○	○	○
⑥	A 二本足	○		○					
	B 一本足		○		○				
	C 固定足					○		○	
	D コーナージョイント						○		○
⑦	コーナージョイント	○	○	○	○	○	○	○	○
⑧	コーナージョイント	○	○	○	○	○	○	○	○
⑨	接着剤及び注入器	○	○	○	○	○	○	○	○
⑩	シ ー ト	○	○	○	○	○	○	○	○
⑪	フ ッ ク	20個	20個	20個	20個	20個	20個	20個	20個
⑫	接続ジョイント		3個		3個		3個		3個

※ フックは型式に合わせて必要数だけご使用ください。

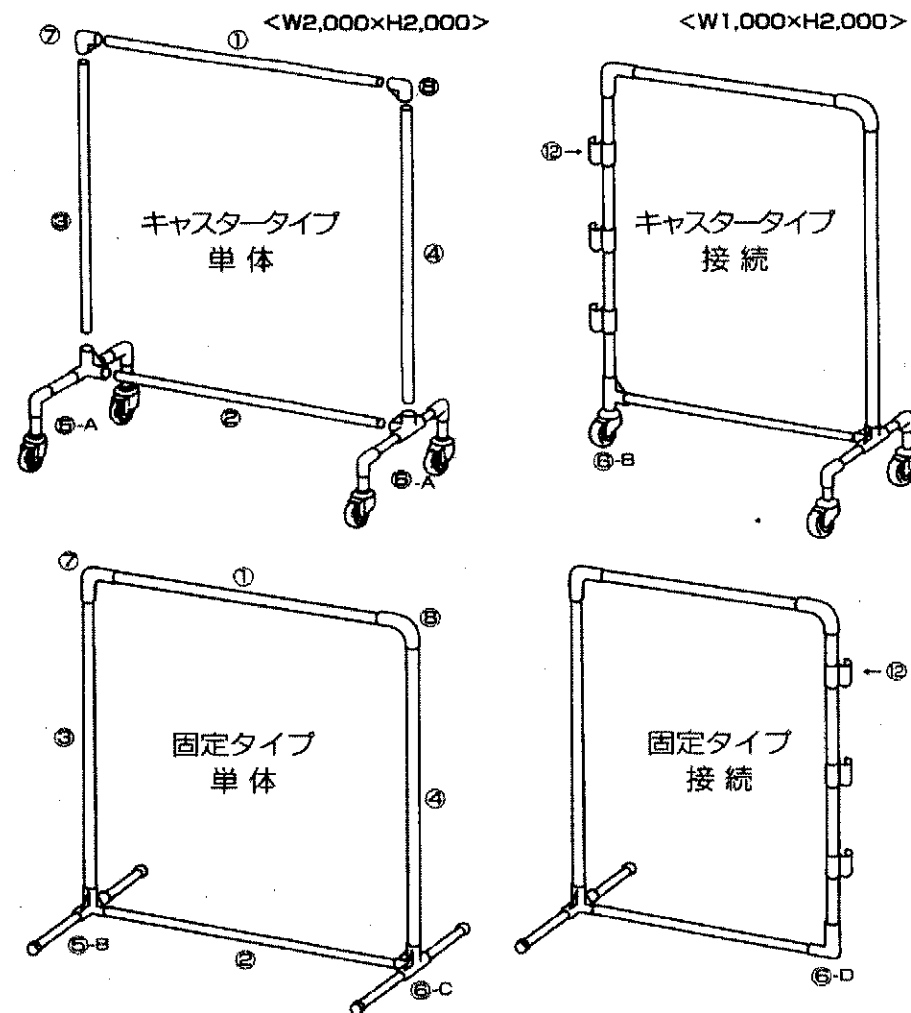
※ パイプ枠のみご購入の場合シートは同梱されません。

ジョイントを利用することにより、接続して使用することも可能です。



※ 接続ジョイント (J-16) は、タテパイプ接合前にタテパイプに通しておいて下さい。

2. 組立図

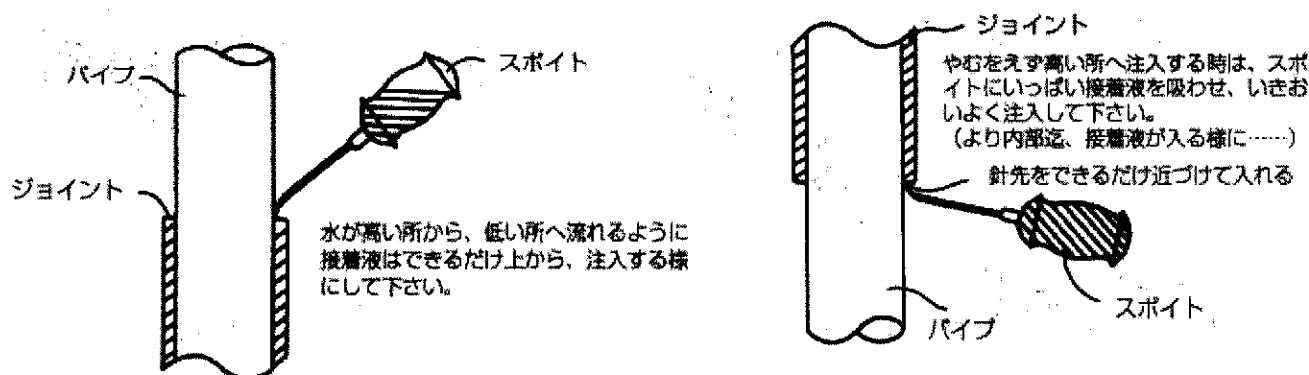


※ フックはパイプ接合前にパイプに通して下さい。

3.組立方法

- ご購入の型式から部品内容をご確認下さい。
- 各接合部（ジョイント）は同梱の接着剤を必ず使用し固定して下さい。
（注）この接着剤は溶剤タイプで有り、説明書を見て取り扱いには充分注意して下さい。
- パイプ継手分の接着方法は次の様に行います。
 - ① 接着面の塵、水、油、等は予め拭き取ってから接着下さい。
 - ② 平な床上に置き、ねじれ、傾きがないか確認の上接着下さい。
 - ③ 接着剤は接合部に均一にゆきわたる様注入して下さい。
 （注）接着剤がはみだすとパイプ、ジョイントを溶かしますので注意下さい。

4.接着方法



- 接着液を注入してから、約15分は動かさないで下さい。又、充分な接着強度を得る為には、24時間放置してから使用して下さい。
- 水等がかかる所に使用する場合、又は、充分な強度を必要とする場合は、接着液を多めに注入し、5分以上してからもう1度接着を行って下さい。

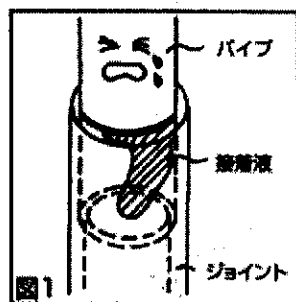


図1
接着不足ですと、こわれたり、ぬけたり、雨水が入る原因となります。

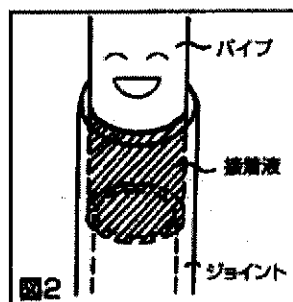
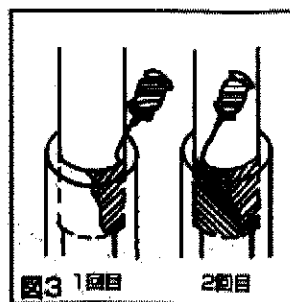


図2
完全な接着を行って下さい。



1度接着しただけでは不十分な場合がありますので、5分以上してもう一度行って下さい。

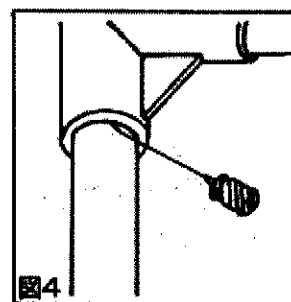


図4
針先をできるだけ近づけていきおいよく注入して下さい。

- 接着液は引火のおそれがありますので、取扱いには充分ご注意下さい。又、換気をよくした部屋で作業して下さい。